

1 調査名称：福山市長期未着手都市計画道路対応方針検討業務

2 調査主体：福山市

3 調査圏域：福山都市圏

4 調査期間：2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度）
※街路交通調査費補助の採択を受けたのは2013年度（平成25年度）

5 調査費：4,150千円（2013年度（平成25年度））
（総合都市交通体系調査）

6 調査概要：

福山市の都市計画道路は、107路線、約278.4kmが都市計画決定されており、このうち、整備済みの延長が約174.0km（整備率62.5%）で、残りは未整備となっている。

未整備の都市計画道路については、少子高齢化や人口減少社会の到来、財政的制約、市町村合併等により、福山市を取り巻く社会経済状況やまちづくりの方向性が変化してきているため、都市計画決定当時の必要性等が変化していることが考えられるとともに、決定した区域内における建築制限の長期化により、地域への影響が懸念されている。

こうした状況に対応するため、都市計画決定後、長期にわたって未着手となっている都市計画道路について、集約型都市構造の形成、都市間の連携及び人にやさしい生活空間の創出等、福山市都市マスタープランのめざすべき将来像を考慮した上で、学識経験者や関係機関で構成される検討懇談会及び市民等の意見を取り入れながら、存続及び縮小変更・廃止について検討した長期未着手都市計画道路の見直し計画（「福山市長期未着手都市計画道路対応方針」）を策定するものである。

I 調査概要

1 調査名：福山市長期未着手都市計画道路対応方針検討業務

2 報告書目次

第1章 長期未着手都市計画道路対応方針の目的

1 都市計画道路とは

- (1) 都市計画道路を都市計画に定める意義
- (2) 都市計画決定の手続
- (3) 都市計画道路の機能
- (4) 都市計画道路の分類

2 都市計画法

- (1) 都市計画法及び都市計画運用指針
- (2) 都市計画法による建築の制限

3 対応方針策定の背景

- (1) 社会経済状況の変化
- (2) まちづくりの方向性

4 対応方針の目的と取組（全体）の流れ

- (1) 対応方針の目的
- (2) 取組（全体）の流れ

第2章 福山市の都市計画道路の現状

1 都市計画道路の経緯

- (1) 都市計画道路の経緯
- (2) 都市計画道路整備の経緯

2 都市計画道路の現状

- (1) 都市計画道路の現状一覧表
- (2) 都市計画道路の路線図
- (3) 都市計画道路の整備状況
- (4) 都市計画道路の都市計画決定

第3章 長期未着手都市計画道路検討の考え方

1 検討方針

- (1) 対応方針の流れ
- (2) 検討の視点
- (3) 検討の手順
- (4) 都市計画道路の方向性（求められる役割）
- (5) 評価の項目

2 検討内容

- (1) ステップ1 (評価対象路線の選定)
- (2) ステップ2 (評価対象路線の現状把握)
- (3) ステップ3 (一次評価)
- (4) ステップ4 (総合評価)
- (5) 評価カルテ (様式)

第4章 長期未着手都市計画道路の検討

1 評価対象路線の選定及び評価・検証

- (1) 評価対象路線の選定
- (2) 評価対象路線の一次評価と検証
- (3) 再評価対象路線の総合評価と検証

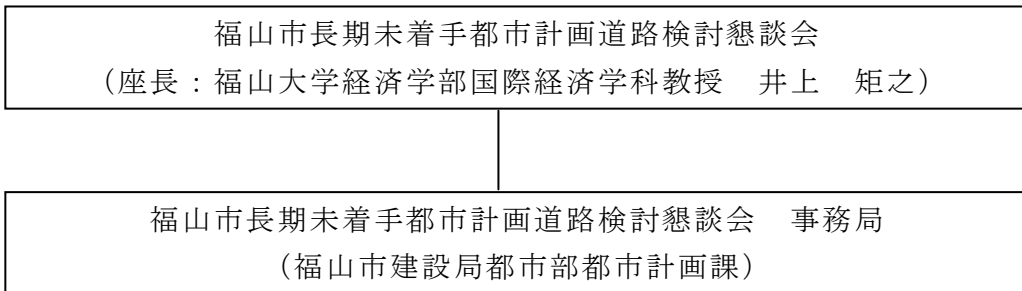
2 評価結果の総括

- (1) 評価結果の一覧表 (一次評価・総合評価のまとめ)
- (2) 評価結果の路線図 (一次評価・総合評価のまとめ)

第5章 今後の進め方

- 1 住民等との合意形成及び都市計画法に基づく手続の進め方
- 2 次回の都市計画道路網の検討

3 調査体制



4 懇談会名簿等：

<福山市長期未着手都市計画道路検討委員 名簿>

(敬称略)

	所 属	役職等	名 前	備 考
1	福山大学経済学部	教 授	井上 矩之	(座長)
2	福山市立大学都市経営学部	准教授	岡辺 重雄	
3	広島弁護士会福山地区会	弁護士	坂本 朋顕	
4	国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所	副所長	沢口 俊樹	
5	日本大学理工学部まちづくり工学科 (京都大学経営管理大学院特命教授)	教 授	高村 義晴	(座長職務代理) [前所属：福山市立大学都市経営学部]
6	広島県東部建設事務所	次 長	田中 英治	[前任者：橘高 隆二]
7	広島県福山東警察署	交通官	山本 正規	[前任者：藤川 透]

2014年(平成26年)3月

II 調査成果

1 調査目的

本調査の目的は、都市計画決定後、長期にわたり未着手となっている都市計画道路について、存続及び縮小変更・廃止について検討した長期未着手都市計画道路の見直し計画（「福山市長期未着手都市計画道路対応方針」）を策定することである。

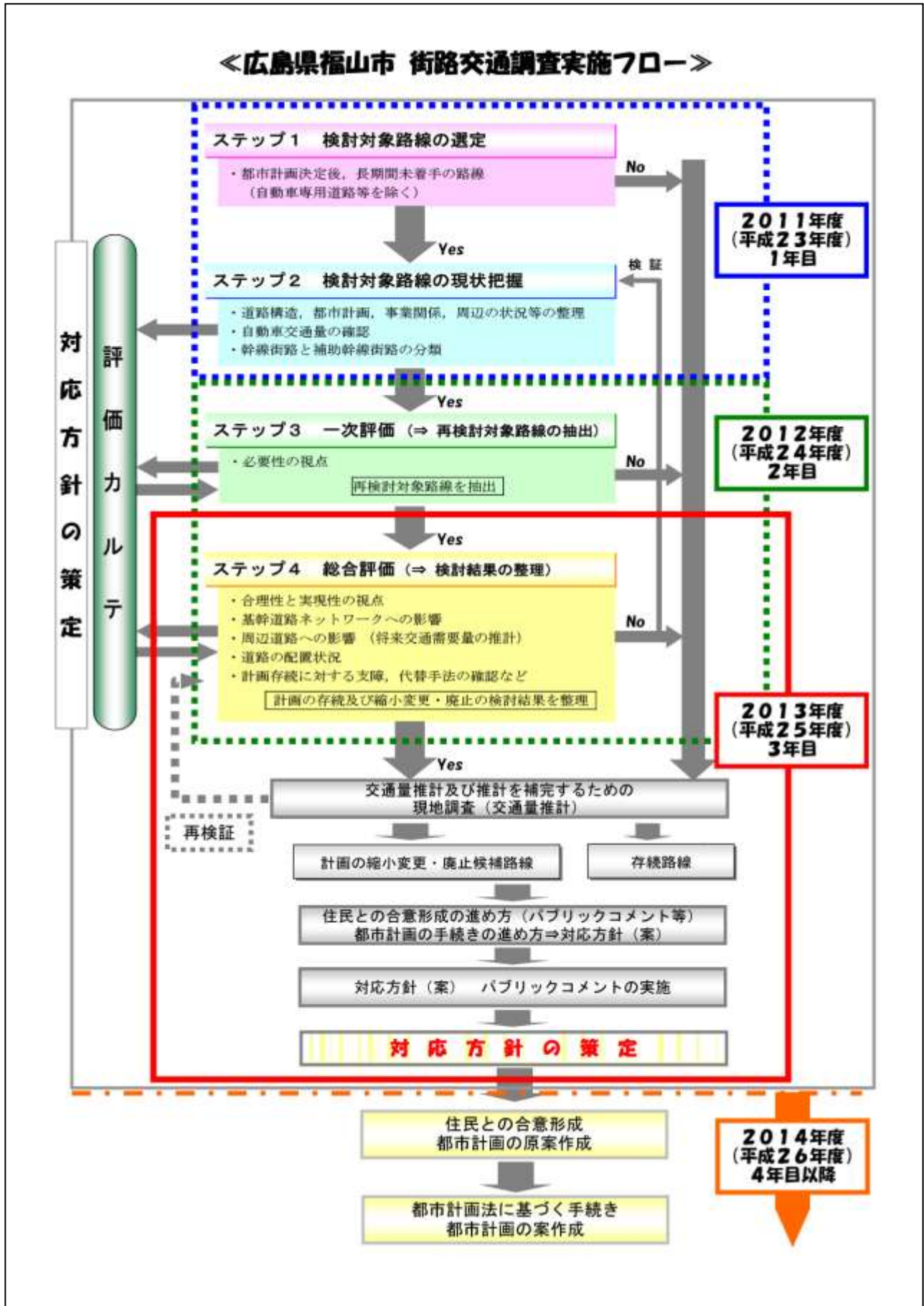
また、この取組は、2011年度（平成23年度）から2013年度（平成25年度）の3ヵ年で実施しており、最終年度の2013年度（平成25年度）について街路交通調査費補助（総合都市交通体系調査）の採択を受けた。

2012年度（平成24年度）までの調査では、福山市長期未着手都市計画道路対応方針の目的や都市計画道路の現状等を整理した上で、検討手順、評価項目及び定量的指標等を設定し、調査実施フローに基づき、ステップ1の評価対象路線の選定から、ステップ4の総合評価（合理性と実現性の視点からの評価）までを実施した。

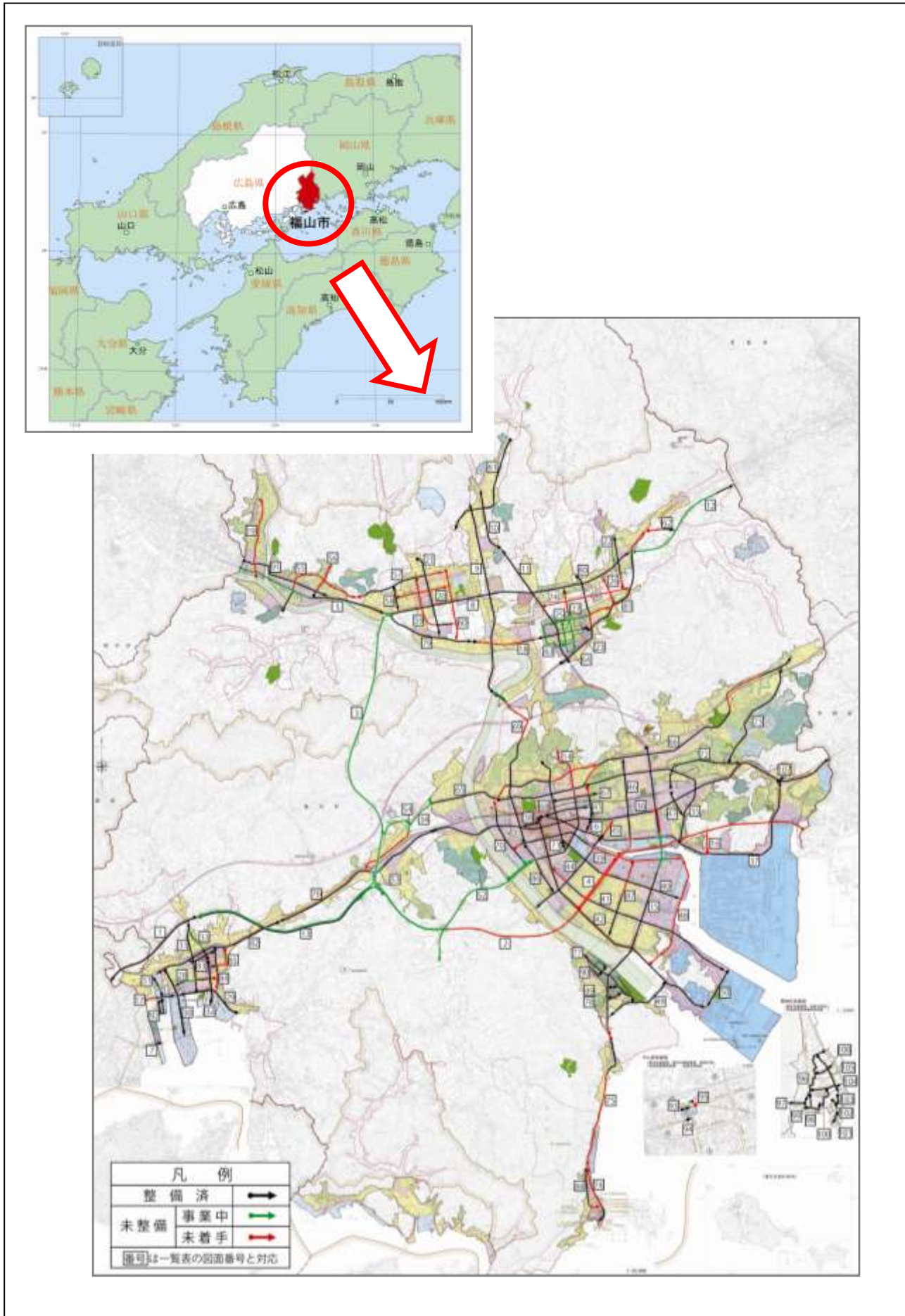
2013年度（平成25年度）の調査では、ステップ4の総合評価結果に検証を加え、存続及び縮小変更・廃止候補路線を選定し福山市長期未着手都市計画道路対応方針を策定した。

具体的には、将来交通量推計及び推計結果を補完する実態調査により、合理性の視点から検証を加えると共に、他計画・事業との関連や、道路整備に関する地域のニーズ等、実現性の視点からも評価した上で、評価方法及び評価結果等について、市民等の意見を反映させるためパブリックコメントを実施し、福山市長期未着手都市計画道路対応方針の取りまとめを行った。

2 調査フロー



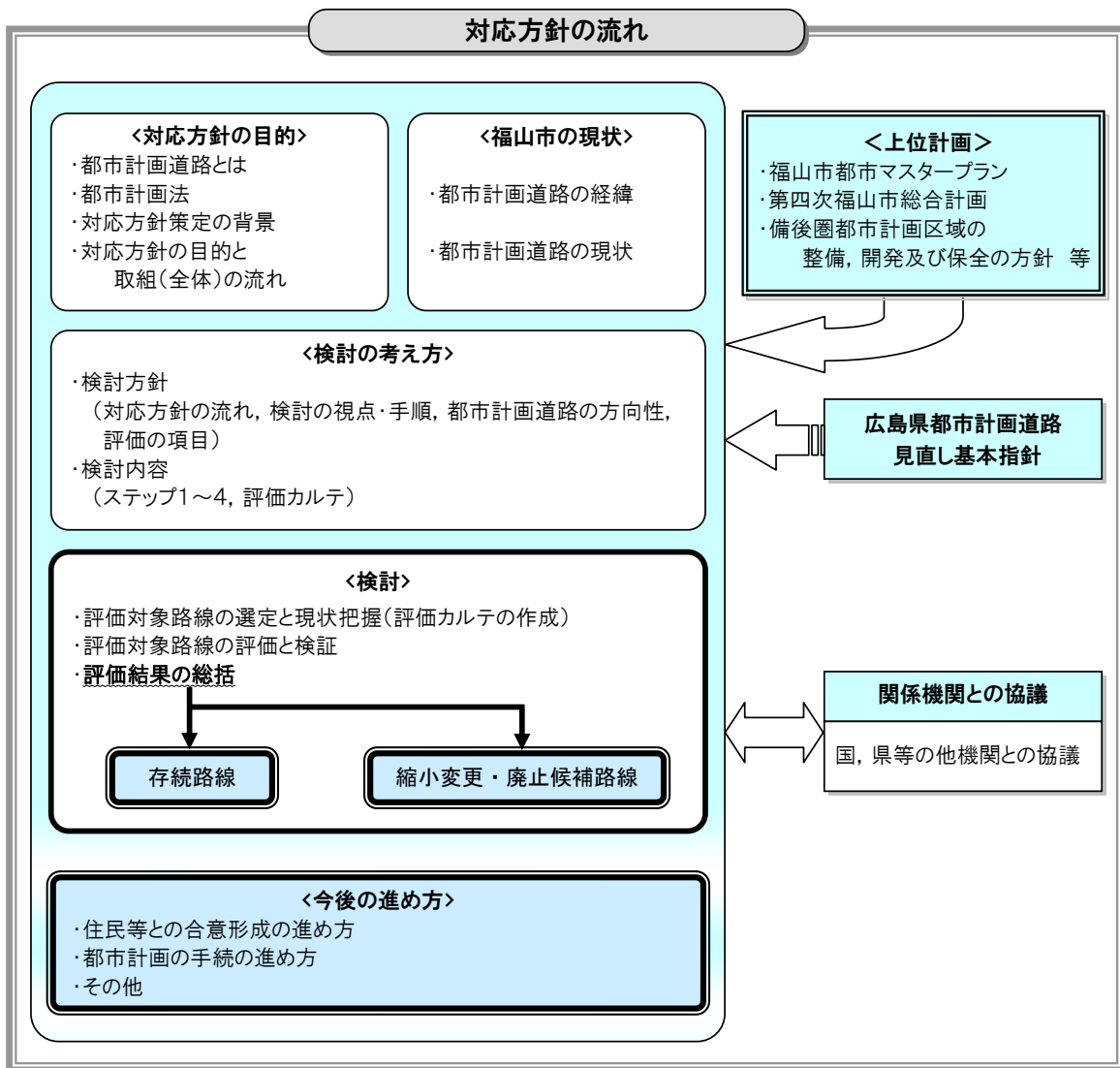
3 調査圏域図



4 調査成果

○対応方針の流れ

「福山市長期未着手都市計画道路対応方針」では、福山市の都市計画道路の現状を踏まえ、めざすべき将来都市像を示した「福山市都市マスタープラン」や「第四次福山市総合計画」、「備後圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」等の上位計画に即し、また、広島県が策定した「広島県都市計画道路見直し基本指針」に基づき、次の流れにより長期未着手都市計画道路の存続及び縮小変更・廃止候補について検討を行った。



広島県都市計画道路見直し基本指針との関係

広島県において、県と各市町が協働で都市計画道路の検討を行うための方向性を示した「広島県都市計画道路見直し基本指針」が策定されている。

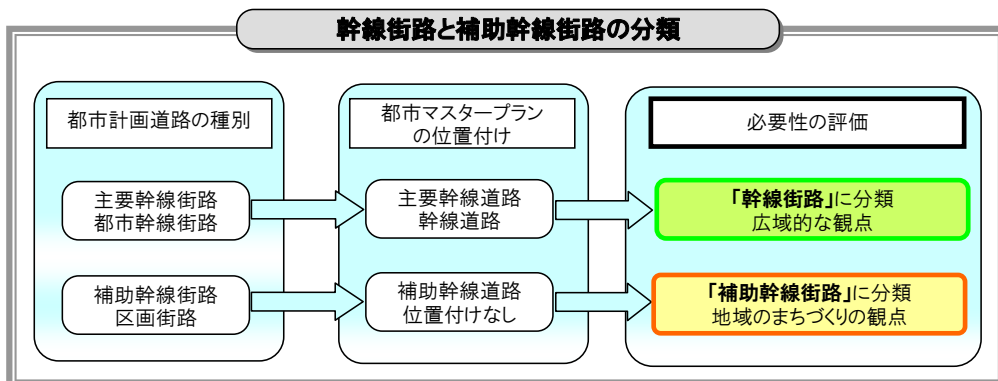
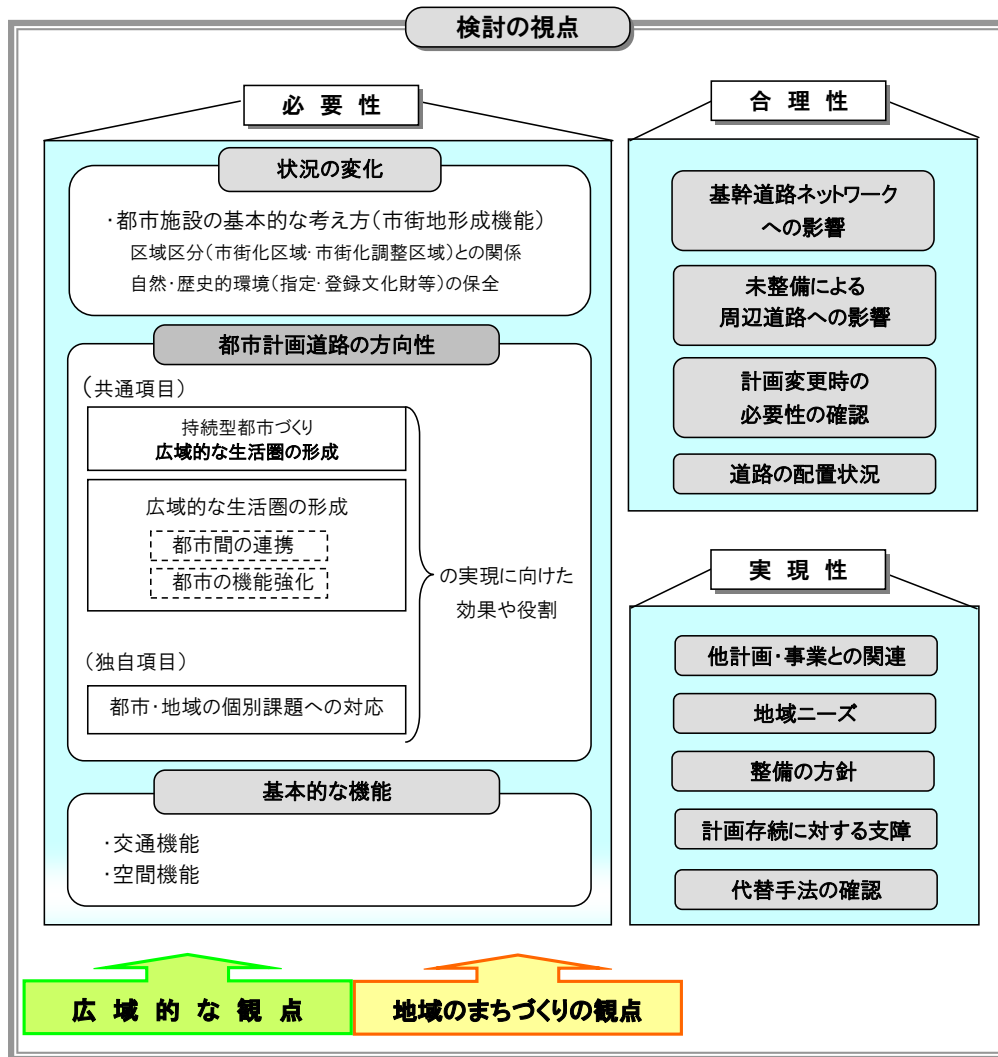
「福山市長期未着手都市計画道路対応方針」は、この基本指針に基づき福山市の状況に応じて策定した。

○検討の視点

検討に当たっては次の必要性、合理性及び実現性の各視点から、福山市の状況に応じて検討を行う。

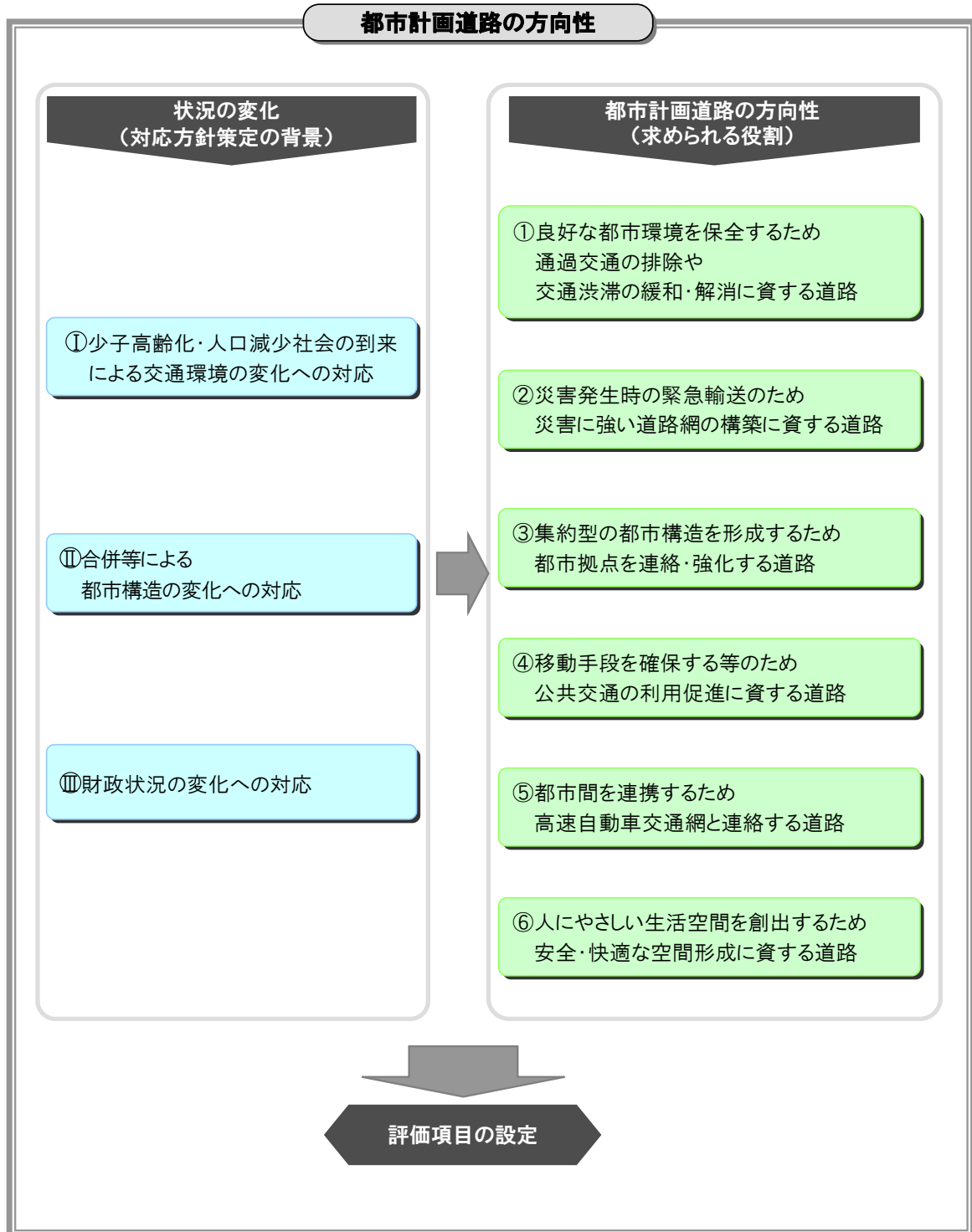
また、都市計画道路の役割等は、広域交通を処理する道路から生活に密着した道路まで様々であることから、都市計画道路の位置付けに応じて、評価対象路線を幹線街路と補助幹線街路に分類する。

そして、幹線街路は広域的な観点から、補助幹線街路は地域のまちづくりの観点から評価した。



○都市計画道路の方向性（求められる役割）

今後の都市計画道路の方向性（求められる役割）は、状況の変化（対応方針策定の背景）を踏まえ「備後圏都市計画区域の整備，開発及び保全の方針」における交通施設の都市計画決定の方針や「福山市都市マスタープラン」における交通施設整備の方針に即して定めた。



○評価の項目

一次評価及び総合評価の評価項目は、状況の変化（対応方針策定の背景）や都市計画道路の方向性（求められる役割）、都市計画道路の基本的な機能を踏まえて、「広島県都市計画道路見直し基本指針」において示された評価項目に追加等を行い、表－１，表－２，表－３及び表－４の評価項目とした。

①一次評価の評価項目

◆状況の変化に対応する評価（補助幹線街路）

表－１ 一次評価の評価項目（状況の変化に対応する評価）

類型	評価の視点	評価の項目	背景との関係
状況の変化	都市施設の基本的な考え方 (市街地形成機能)	区域区分（市街化区域・市街化調整区域）との関係からの評価	①, ⑩, ⑪
		自然・歴史的環境（指定・登録文化財等）等の保全からの評価	⑩

◆広域的な観点（幹線街路）

表－２ 一次評価の評価項目（広域的な観点）

類型	評価の視点	評価の項目	方向性との関係	
都市計画道路の方向性	持続型都市づくり	都市内の交通混雑緩和に寄与する道路	①	
		公共交通機関（路線バス）のサービスが高い道路及びサービスを向上させる計画のある道路	④	
		J R在来線駅及びゾーンバスシステムの乗り継ぎターミナルへのアクセス道路	④	
	広域的な生活圏の形成	都市間の連携	隣接市町の拠点と都心地区及び地域拠点を連絡する道路	①, ⑤
			高次医療ネットワークを支える道路	①, ⑤
		都市の機能強化	広域公共交通機関（高速バス）のサービスがある道路及び今後提供が考えられる道路	①, ⑤
			広域交通拠点と都心地区及び地域拠点を連絡する道路	③, ④
	都市の個別課題への対応	都市の機能強化	都心地区と地域拠点及び地域拠点間相互を連絡する等の都市の骨格を形成する道路	③
			放射・環状道路等の都市の骨格を形成する道路	①, ③, ⑤
	な基本的	交通機能	交通安全に寄与する道路	⑥
交通処理機能の高い道路			①, ③, ⑤	
産業拠点へのアクセス道路	③, ⑤			
空間機能	交通機能	余暇活動拠点へのアクセス道路	③, ⑤	
		防災活動及び緊急活動を支援する道路	②, ⑤	

◆地域のまちづくりの観点（補助幹線街路）

表－３ 一次評価の評価項目（地域のまちづくりの観点）

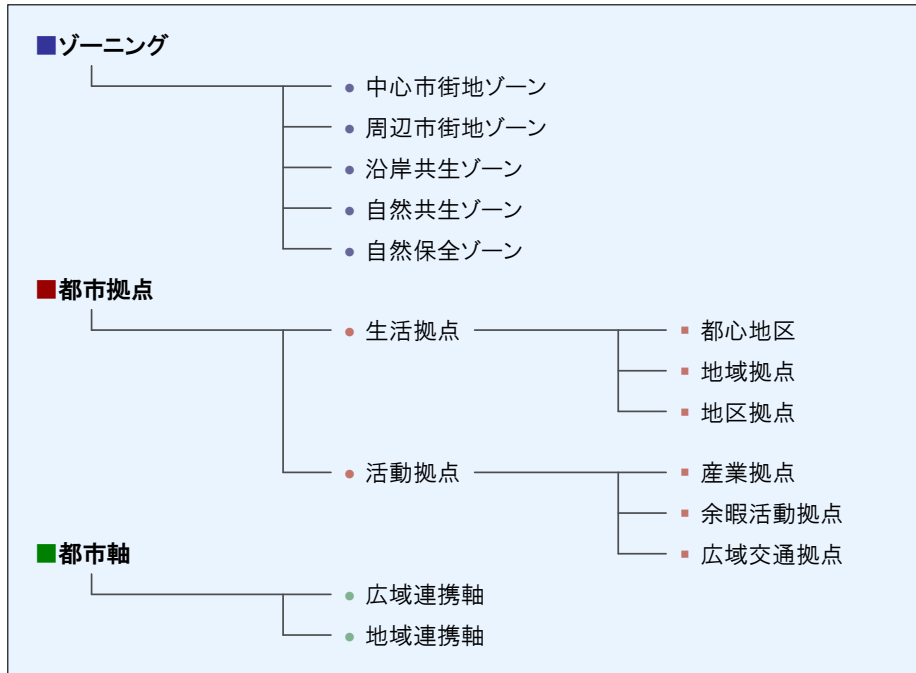
類型	評価の視点	評価の項目	方向性との関係	
都市計画道路の方向性	持続型都市づくり	公共交通機関（路線バス）のサービスが行われている道路	①	
		歩行者及び自転車の安全で快適な通行空間が確保された道路	①	
		沿道環境の向上に寄与する道路	⑥	
	活広域的な形な生成	都市間の連携	—	
		都市の機能強化	地域拠点の骨格を形成する道路	③
			市街地の活性化に寄与する道路	③，⑤
	地域の個別課題への対応		都心地区及び地域拠点と地区拠点の連携を強化する道路	③
		交通安全に寄与する道路	⑥	
な基機本能的	交通機能	地域内の主要拠点（公共・公益施設，大規模小売店舗等）を連絡する道路	③	
	空間機能	延焼遮断及び災害避難路となる道路	②，⑥	
		消防活動困難区域の解消を図る道路	⑥	

②総合評価の評価項目

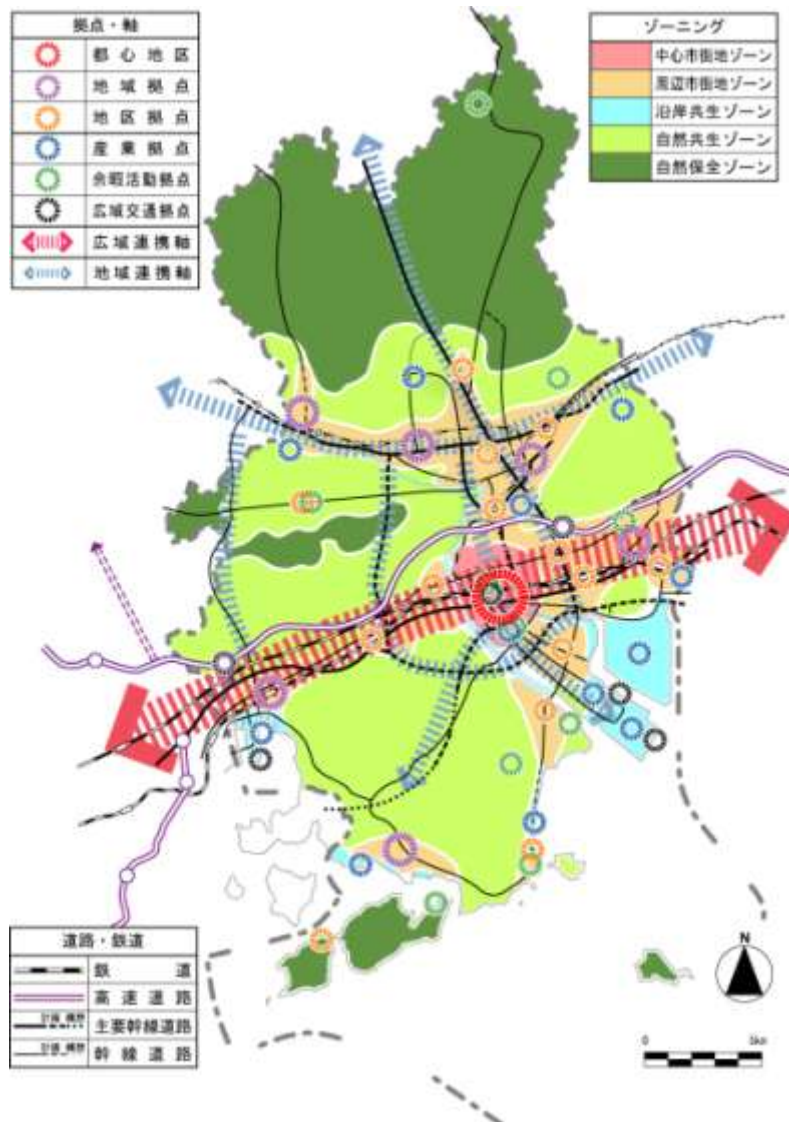
表－４ 総合評価の評価項目

	評価の視点	評価の項目
合理性の視点	基幹道路ネットワークへの影響	再評価対象路線が基幹道路ネットワークに含まれていないかを確認
	未整備による周辺道路への影響	再評価対象路線が未整備の場合の交通量（H42年推計）
		再評価対象路線が未整備の場合の混雑度（H42年推計） 〔混雑度により周辺道路への影響を評価〕
	計画変更時の必要性の確認	近年に根本的な都市計画の変更を行っている場合は変更時の必要性を確認
	道路の配置状況	周辺道路の配置状況を確認
実現性の視点	他計画・事業との関連	他計画・事業等との関連の有無
	地域ニーズ	道路整備に対する住民ニーズの有無
	整備の方針	必要性・合理性・実現性の視点からの評価
	計画存続に対する支障	公共・公益施設，密集市街地，商店街，歴史・文化・景観資源の有無 〔整備の方針と計画存続に対する支障の各視点を比較検討し，支障の程度を総合的に評価〕
	代替手法の確認	再評価対象路線の代替機能を確保できるかを確認

■ 福山市の都市構造の体系（福山市都市マスタープランより）

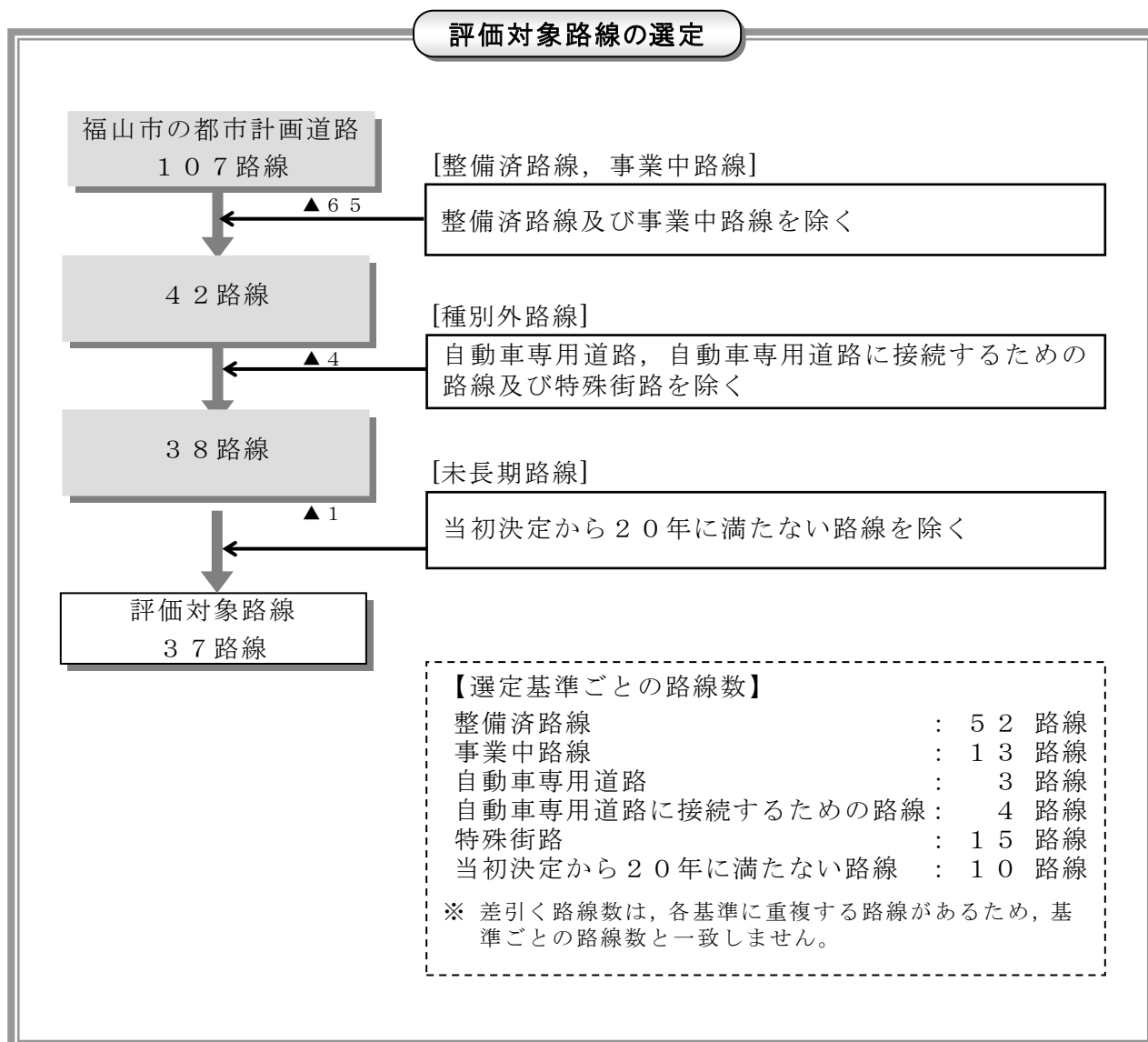


■ 福山市の都市構造図（福山市都市マスタープランより）



○評価対象路線の選定

福山市の都市計画道路 107 路線のうち、選定基準に基づいて評価対象路線を選定した結果、評価対象路線は 37 路線、約 46.1 km となった。



○評価対象路線の一次評価と検証

① 次評価の結果

選定された評価対象路線を、主要な交差点、整備状況等により85区間に分割し、区間の現状を把握した上で、一次評価を行った結果、総合評価を実施する再評価対象路線・区間は、23路線、56区間、約28.1kmとなった。

②一次評価の検証

一次評価では、福山市の都市計画道路の現状を踏まえ、「広島県都市計画道路見直し基本指針」に基づく評価に加えて、「区域区分(市街化区域・市街化調整区域)との関係からの評価」及び「自然・歴史的環境(指定・登録文化財等)等の保全からの評価」について検証した。さらに、一次評価において該当する項目数「○」が3以下の幹線街路について、補助幹線街路としての必要性があることも考えられることから、「広域的な観点」に加えて「地域まちづくりの観点」からも検証した。

状況の変化に対応する評価の考え方

○区域区分(市街化区域・市街化調整区域)との関係からの評価

福山市の人口は今後減少することが推測される中、市街化を抑制する地域として位置づけられている市街化調整区域内にある補助幹線道路については、土地利用との整合性を踏まえる必要があることから、再評価対象路線として抽出する。

○自然・歴史的環境(指定・登録文化財等)等の保全からの評価

社会経済情勢の変化により、文化財や環境などへの配慮が高まる中、良好な自然的環境、重要な歴史的環境及び重要な景観等に影響を及ぼす補助幹線街路については、自然・歴史的環境等の重要性を踏まえる必要があることから、再評価対象路線として抽出する。

○再評価対象路線の総合評価と検証

① 総合評価の結果

総合評価を行った結果、廃止候補路線・区間は12路線、22区間、約10.1kmとなりました。また、個別評価の路線・区間は無かった。

②総合評価の検証

総合評価では、福山市の都市計画道路の現状を踏まえ、「広島県都市計画道路見直し基本指針」の総合評価に加えて、「基幹道路ネットワークへの影響」、「補助幹線街路の将来交通量推計」、「計画変更時の必要性」、「道路の配置状況」及び「評価結果に基づく将来交通量推計」について検証した。

総合評価の検証の考え方

○基幹道路ネットワークへの影響の検証

基幹道路ネットワークについては、長期未着手都市計画道路の検討における評価だけでなく、福山市の将来都市像を踏まえた検討が必要であることから、再評価対象路線に抽出されていないことを確認し、抽出されている場合は評価内容を検証する。

この基幹道路ネットワークを構成する道路は、広島県の広域道路網の形成や福山市の将来都市像の実現に必要不可欠なものとして、広島県広域道路整備基本計画における広域道路（交流促進型）及び福山市都市マスタープランにおける都市軸（広域連携軸、地域連携軸）に位置づけられている路線・区間とする。

○補助幹線街路の将来交通量推計の検証

都市計画決定の幅員が20m以上かつ4車線を有する補助幹線街路は、一定量以上の自動車交通の処理機能を担うことも求められていることから、将来交通量の推計を行い、周辺道路への影響を検証する。

○計画変更時の必要性の検証

当初決定から20年以上経過した路線の中には、路線ごとの検討結果に基づき、20年以内に都市計画の変更を行った路線が存在する可能性がある。

こうした路線については、路線ごとに必要性を確認して都市計画変更されており、その内容が一次評価に反映されていない可能性もあるため、変更理由等を検証する。

○道路の配置状況の検証

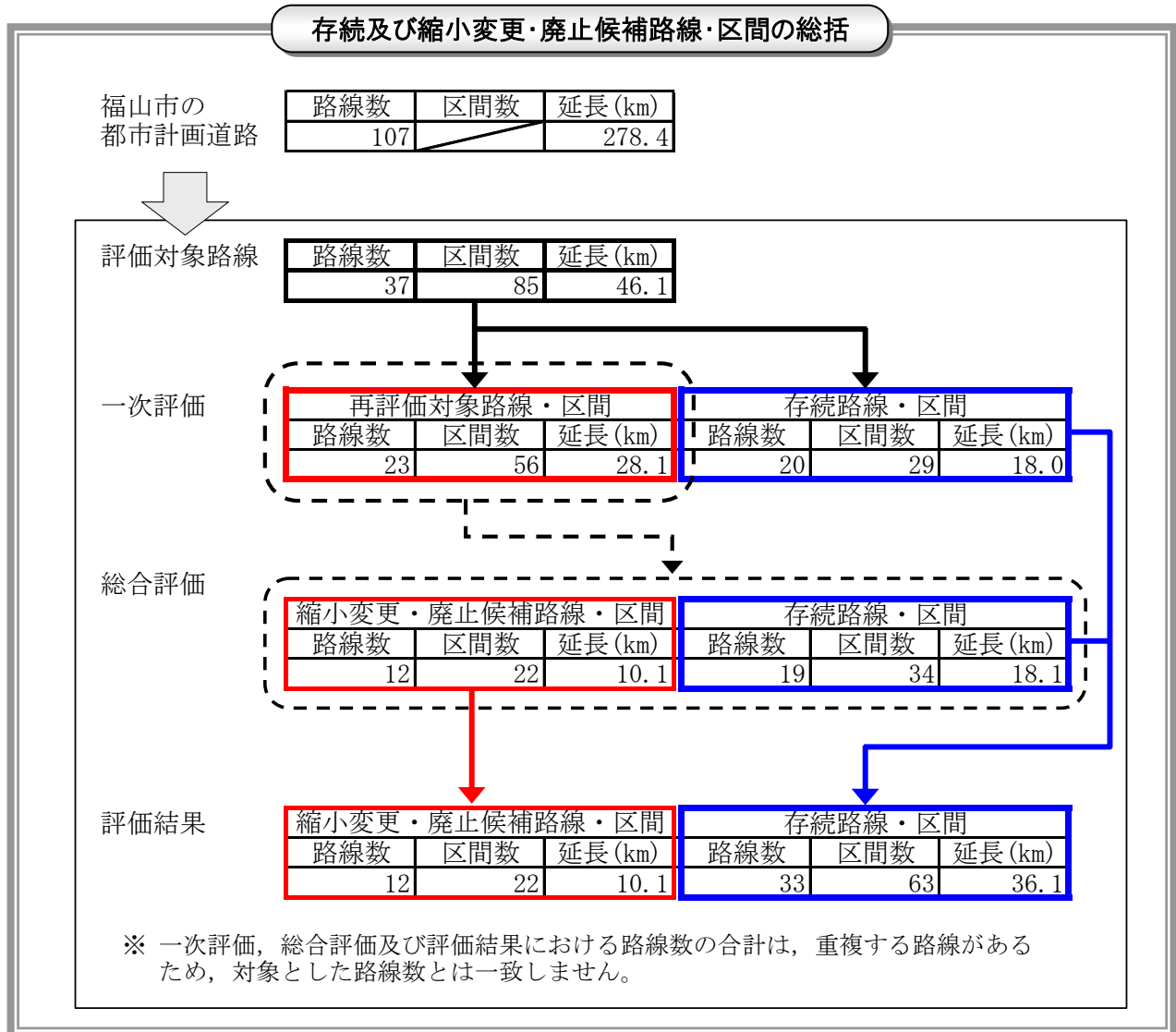
再評価対象路線の周辺において一定の幅員以上の既存道路が面的にある場合については、都市計画道路の必要性に影響を与えることから、既存道路の配置状況を検証する。

○評価結果に基づく将来交通量推計の検証

評価結果に基づく新たな都市計画道路網で将来交通量を推計し、周辺道路への影響を検証する。

○評価結果の総括

評価対象路線（37路線，85区間，約46.1km）について，一次評価および総合評価を行った結果，存続路線・区間は33路線，63区間，約36.1kmとなり，縮小変更・廃止候補路線・区間は12路線，22区間，10.1kmとなった。



評価・検証に伴う変更(廃止)の理由

評価対象路線（37路線）について，市内全体の道路網を踏まえ，将来に向けた都市計画道路の必要性，計画の合理性及び実現性の視点から評価・検証を行った結果，路線（区間）の必要性が低いことに加えて，廃止した場合の周辺道路への影響が小さいこと及び実現性への支障が大きいことなどの理由から，廃止候補として現計画を変更することが妥当と考えている。

① 評価結果の一覧表(一次評価・総合評価のまとめ)

図面番号	路線名	区間番号	延長(m)	評価結果
14	鷹取奈良津線	①	250	存続
		②	500	存続
		③	860	存続
15	神辺水呑線	①	750	存続
		②	255	存続
17	山波南松永線	①	330	存続
18	森脇中津原線	①	410	存続
		②	960	存続
		③	90	存続
19	新市宮内線	①	130	廃止候補
		②	250	存続
		③	2,040	存続
20	近田万能倉線	①	660	存続
		②	310	存続
		③	580	廃止候補
22	古市本湯野線	①	410	存続
24	元藤平野線	①	650	廃止候補
		②	140	廃止候補
		③	385	廃止候補
		④	330	廃止候補
		⑤	335	廃止候補
		⑥	380	廃止候補
		⑦	220	存続
25	王子帰り線	①	230	廃止候補
		②	420	廃止候補
26	古城沖湯野線	①	400	廃止候補
		②	520	廃止候補
27	川南湯田村駅線	①	310	存続
		②	210	存続
28	神島稲荷島線	①	90	存続
34	山手赤坂線	①	1,860	存続
39	草戸曙線	①	350	存続
		②	100	存続
		③	810	存続
		④	500	存続
		⑤	730	存続
		⑥	410	存続
41	沖野上箕島線	①	570	存続
43	菰山水辺線	①	280	存続
45	入江東深津線	①	580	存続
48	一文字堤防線	①	1,210	廃止候補
		②	980	存続
		③	610	存続
		④	660	存続

図面番号	路線名	区間番号	延長(m)	評価結果
55	新市井原線	①	200	存続
		②	1,030	存続
		③	1,110	存続
56	あしかべ線	①	390	存続
		②	550	存続
57	戸手岩成線	①	230	存続
		②	670	存続
59	中島御幸線	①	165	存続
		②	290	存続
		③	440	存続
		④	700	廃止候補
		⑤	65	廃止候補
60	万能倉上山守線	①	145	存続
		②	290	存続
		③	460	存続
		④	645	廃止候補
		⑤	530	廃止候補
62	御領線	①	470	存続
65	津之郷奈良津線	①	360	存続
		②	660	存続
		③	830	存続
66	本庄坪生線	①	590	廃止候補
		②	170	存続
		③	1,560	存続
69	地吹大渡橋線	①	720	存続
		②	830	存続
70	鷹取本庄線	①	370	存続
74	鞆海岸線	①	1,250	存続
75	水呑鞆線	①	100	存続
		②	2,690	存続
80	福山徳田線	①	370	存続
81	神辺駅下御領線	①	960	存続
84	判屋線	①	160	存続
		②	430	廃止候補
85	羽原川長和島線	①	820	廃止候補
		②	160	廃止候補
87	新涯土手添線	①	650	存続
		②	460	存続
88	中島祇園線	①	400	廃止候補
90	下新田循環線	①	100	存続
		②	60	存続

廃止候補路線・区間	12路線, 22区間, 10.1km
存続路線・区間	33路線, 63区間, 36.1km

② 評価結果の路線図(一次評価・総合評価のまとめ)

